

# 125周年迎え祝賀会

田中石灰工業



田中石灰工業（田中克也社長）は22日、高知市内で創業125周年記念祝賀会を開催し、尾崎正

直知事、石田祝徳衆議院議員、海外を含めた取引先企業、社員らが新たな門出を祝った。

田中社長「写真」は、あいさつで顧客や取引先企業、地元住民への謝意を表し「石灰業として創業し、その後鉱山業、環境事業、リサイクル事業と、中心となる事業の軸足の置き場所を時代環境の変化に合わせて少しずつ

移動してきた。環境の変化に合わせて、中心的な事業を変えて行くことがわれわれのDNAと自負しており、フレキシビリティな部分が強みだと考えている。社員である地域社会の貢献、資源の創出と資源の循環。この2点に基づき地域に根をおろし、循環型社会形成に少しでも貢献できる企業をこれからも目指していく」と語った。

その後、尾崎知事、石田議員らが祝辞を述べ、

吉住流長町の記念講演などで会を祝った。

南国市に125万円寄付



田中石灰工業（田中克也社長）は、125周年を記念して創業の地である

南国市に125万円を寄付し、22日に高知市内で行われた祝賀会で田中社長から平山耕三市長に目録が手渡された。平山市長は「今年は南国市も60年という節目の年を迎えた。次の100年に向け、地域社会への貢献、資源の創出・資源の循環に沿った使い方をしていきたい」と田中石灰工業の社長を引用し謝辞を述べた。

## おかげさまで創業125年



代表取締役 田中克也

私も田中石灰工業は、明治27年、南国市稲生にて石灰メーカーとして創設以来、高品質の石灰を製造し続け、本年11月28日に創業125周年を迎えました。資源再生事業部においては、一世紀を超える間に培ってきた様々な要素技術を応用することで、建設業界における処理困難物の処分・リサイクル技術を開発してまいりました。様々なリサイクル実績の蓄積を元に、現在は建設業界の喫緊の課題である建設残土処理に取り組んでいます。残土処分場が県内で逼迫する中、高知市内から至近距離にある円行寺地区の広大な採掘跡地にて、新鋭土質改良機を導入するとともに、当社の石灰を固化調整用途に使用し、建設残土を改良土として製品化するリサイクル事業を開始いたしました。私どもの企業理念である「資源の創出と資源の循環」のもと、本事業が循環型社会形成に少しでも役立つように全力で邁進していく所存であります。



土質改良機「SSB スーパーソイルブレンダー」

「資源の創出と資源の循環」 私たちの新たな挑戦が始まりました！

キヲ 田中石灰工業株式会社

〒781-8125 高知県高知市五台山3983 TEL:088-884-0260 FAX:088-884-0289

高知エコセンター 〒780-0974 高知市円行寺1763-1  
高知中間処理センター 〒783-0084 南国市稲生4023  
[営業拠点] 吉北出張所 / 中芸出張所 / いの出張所  
高知プラスチック再生センター 〒781-0112 高知市仁井田4609  
旭川プラスチック再生センター 〒078-1332 北海道上川郡当麻町宇園別2区  
稲生石灰工場 〒783-0084 南国市稲生3185